

# 生活協同組合 コープぎふ

各務原市・小売業

平成27年度  
認定

1990年から育児休業を3歳前まで、育児短時間勤務も小学4年前まで延長するなど、子育て支援制度を充実。年休取得促進や所定外労働時間の短縮にも取り組み、家庭での時間を大切にしている。

従業員数／男性421名 女性915名 計1,336名 ※平成31年1月現在

## 無理のない働き方で活躍を

コープぎふは、年休を気軽に取得し、所定外労働時間をなくすことで、育児や家庭の時間を守りながら働ける雰囲気を作ってきた。特に所定外労働の短縮においては、職員が気づいた改善点を提案する「よくするカード」で寄せられた意

見をもとに、2015年から曜日ごとの労働時間を分析し、水曜日を「ノー残業デー」と設定。2018年には「働き方改革」という部局を新設し、働きやすい職場環境づくりを進めている。

また女性職員の出産についても、90年と早い段階から、育児休業は3歳前まで、育児短時間勤務は小学4年生前まで延長し、制度を充実。2年間の育児を経て、短時間勤務で復職した河隅里紗さんも、「通いやすい場所に勤務地を変更してもらうなど、柔軟に対応してもらい、時間にも心にも余裕ができた」と、働きやすさを伝える。

また職員の希望を受けて、14年からは女性職員交流会を毎年開催。育児中を含め正社員80%が参加し、キャリアアップを促進する研修や、女性が働きやすい職場環境の検討などに取り組む。子どもの小学校

入学と同時に入協した箕浦あけみさんは、子どもの成長とともに子育てから手が離れてきたのを機に、パートから正職員に。「職場も家族も『挑戦してみたら』と背中を押してくれた。もっと働きたいという気持ちを受け止めてくれる場があり、感謝している」といきいきとした笑顔を見せた。



女性職員交流会は、参加しやすいよう平日と土曜の2回開催。働きやすい制度や業務改善に向けて、グループワークなどを行う。



河隅里紗さんは、育児中は復職に不安があり退職も考えたが、人事との面談で「小学4年まで短時間勤務ができる」と助言を受け、自宅に近い勤務地で復帰。